

株式会社太陽ネットワーク物流

2021 年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(グリーン経営推進チェックリストに基づく現状把握と今後の課題)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針を策定し、環境保全部管理者及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどしている（レベル1）。

環境保全に関する積極的な取組み項目を定め、管理責任者などの役割や責任権限の明確化をはかり、従業員に対して環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報を定期的に伝えて環境保全意識の向上を図るなど（レベル2）の取組みが必要である。

(2) エコドライブの実施

省燃費運転研修を実施した経緯があり、効果は表れている。以降に入社した従業員に対しても受講経験を活かして指導する。継続的にエコドライブの実施を推奨していく。

(3) 低公害車の導入

大型車が中心なのでCNG車、ハイブリッド車の導入は難しいが、最新規制適合ディーゼル車導入を計画的に実施し、代替時には燃費基準達成車、低排出ガス認定車を選択するようにしている。

(4) 自動車の点検・整備

おおむね各項目ともレベル1の取組みは実施している。

(5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に実施している。従業員への廃棄物に関する教育も実施している。

(6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

環境教育を実施し、エコマーク製品の購入、廃棄物分別の徹底、不要照明の消灯などは実行できている。

2. 目標

(1) 環境教育の推進

(2) 燃費向上：対前年 1%

(3) 事務所での環境保全の推進

3. 目標達成に向けた具体的な取組み内容

(1) 「環境教育の推進」に向けた具体的な取組み

点呼時、職員会議時に環境に関する一般的情報（環境問題の世界の現状など）や燃費実績等について、情報提供、教育を行う。

(2) 「燃費向上 対前年」に向けた具体的な取組み

- ・ 月次実績の公表、個別指導の実施
- ・ 職員会議の活用
- ・ アイドリングストップの活用
- ・ エコドライブの実践

(3) 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的な取組み

- ・ ゴミ分別の再徹底
- ・ 室温調整（エアコン）、節電対応
- ・ 電気使用料の実績把握

2021年4月1日

株式会社太陽ネットワーク物流

代表取締役 仲村 辰巳